

令和6年度 第2回彦根市地域スポーツ・文化クラブ活動整備推進協議会

【学校調査部会】

日時：令和6年10月3日(木)15:30～16:45

場所：彦根市役所3階 会議室3-2

1 事務局挨拶

- ・協議活性化のため、第2回彦根市地域スポーツ・文化クラブ活動整備推進協議会は3部会に分かれて行う。
- ・学校調査部会の役割は、主に児童生徒や保護者、教職員に対する周知と調査。
- ・本日は昨年度11月に実施したアンケートの結果をふまえ、今年度の取組について協議を行いたい。

2 報告事項（10分間）

【彦根市地域スポーツ・文化クラブ活動整備推進の方向性について】

- ・個人のスキルアップを活動目標とした場合、個人種目は参加しやすいが、集団種目は活動の値打ちが薄れるのではないかと。実際に試合をするメンバーが集まらなると、チームプレーの練習ができなくなるのではないかと。→地域クラブの在り方は、種目の特性によって変わるべきではないかと。
- ・受益者負担の額については、アンケート結果のとおり3,000円程度が妥当だと思うが、施設料や用具代など、種目によって活動にかかる費用はバラバラなので、受益者負担は種目によって変わってもよい。ただし、指導料は定額にする。
- ・部活動が学校から切り離される、なくなるとなったら、活動機会の確保に向けて動く人はたくさんいるのでは。そのためにも、まずは周知が必要。
- ・土日を認可クラブに使ってもらうためには、学校で施設使用についてかなり綿密に調整していかないといけない。（各月第1週はバレー部、第2週はバスケット部・・・など）

3 協議事項（45分間）

①昨年度アンケート結果をふまえた第2回アンケート調査に向けて

- ・アンケートを実施する前に、十分に市の考え方や現状等、部活動改革について説明をしないと、きちんとしたデータが得られない。中学校の教員は一定自分ごととして関心もあるが、小学校教員はまだまだ他人事なので、指導者として期待するならもっと取組について周知する必要がある。
→教職員向け説明資料（オンデマンド動画？スライド資料？）の最新版を作れるといい。
- ・アンケート内容については、今後各校長先生と事務局でやり取りをして、次回の部会でひな形が確認できるといい。

②指導者の確保に向けて

- ・教職員を指導者として確保することは、県の方針でもあり理解できるが、これだけ働き方改革が叫ばれている中では、なかなか条件が厳しい。中学校の先生は少なくとも今よりも待遇が良くならないといけないし、小学校の先生にも同様の待遇（報償等）をとると、財源が受益者負担だけでは厳しいのではないか。
- ・教職員であれば、小学校の先生だとしても、保護者の理解が得やすい。教員免許が指導者資格のかわりのふりとなる。保護者や地域の人材を指導者とする場合は、面接を行ったり、スポ少のように講習会を受講してもらったりすることが必要となるのでは。
- ・教職員のなかでも、世代によって考え方も関わりやすさも違う。若い世代は自分の時間をもととする傾向が強かったり、既婚であれば家庭の時間優先だったり地域クラブどころではない。子育てが落ち着いて、時間がある世代の先生に期待したい。

4 事務連絡

- 今後の協議会予定
- ・次回部会 … 12 / 13 (金) 15:30～
 - ・次回全体会… 2 / 13 (木)

5 事務局挨拶